

実践年度・タイトル		平成(27)年度 ----- 小学校難聴学級におけるきこえの学習(自立活動)
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	音の大きさを調べよう。
	授業の目標	ICTを活用して、校内の様々な場所や時間における環境音の大きさを調べ、聞こえ方の違いを知ることができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input checked="" type="checkbox"/> その他(自立活動) 4 環境の把握 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない ----- (5)年 (2)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ----- 対象児童は、右耳に補聴器、左耳に人工内耳を装着している。 音(声)に対する反応はよいが、音声言語の聞き逃しや聞き間違い(語彙の変換)があり、正しい聞き取りに課題がある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	iPad アプリ「騒音計測メーター」  「騒音計測メーター」 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ----- 環境音を測定して、数値化することによって、具体的に比較できるようにする。 データ保存をアプリ内で行うことで、活動時間をより多く確保するとともに、事後学習に役立てる。
授業に授業展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	総時数 3時間 導入: 校内には様々な環境音があることに気づかせ、「どんなものがあるか。どのぐらいの音の大きさか。」を発問する。 展開: 様々な場所でどのぐらいの環境音の大きさを調べに行くことを提示する。 終末: ワークシートに調べた結果を記入させ、感想を記入させる。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	【子どもの様子】 自分たちで積極的に調べる姿が見られた。結果の数値を比較して、「〇年〇組の教室が一番うるさいね。」「廊下もうるさかったね。」「休み時間は、廊下が一番うるさかったね。」「調べているとき、(近くの消防署の)サイレンの音も聞こえたよね。」「自分たちの声や先生の声の大きさも調べたいね。」という感想が聞かれた。 【成果】 この活動により、自分たちは人の話を聞くときには、「より注意して聞く」「相手を見て聞く」ことが大切だということに気づくことができた。ICTの活用により、より具体的により効率的に対象児童の課題解決に迫ることができた。